

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## グループワーク 1 A班

(F) よろしくお願ひします。

(サブ F) 先に段取りだけ説明させていただきます。今日のグループワークは、専門家の方は青、一般市民の方はピンクの付箋を使っていただきます。すみません、お手元にペンをお持ちですけれども、皆さんに見えるように、記入にはこの太いマーカーをお使ひください。

今から「原子カムラとはなんだろうか」という皆さんのお考え、イメージ、印象、どこかで新聞で見たとか、どんなことでも結構ですので、キーワードを1枚に1つずつ書いて、手元にお持ちください。そのあと、1人ずつそれについて少し発表していただいて、ここに皆さんのご意見を貼りだすという作業を最初にします。

—— 付箋に書くのはキーワードのみということですね。

(サブ F) そうですね、あまり長く書かないで、読めば分かる程度にしていただければと思います。

—— 意見を言うときは、キーワードだけではないですよ。

(サブ F) 付箋にはそんなに長く書かなくて、読めば分かる程度のキーワードにしていだいて、ご説明は少し長くても構いません。では、大丈夫でしょうか。

—— 原子カムラというのは漠然としすぎていて。

(サブ F) その「漠然としていて」というご意見でも結構です。そういうことを、思いついた順にお書きください。

—— 1つだけですか？

(サブ F) 何枚でもいいですが、1枚に1つでお願いします。では、書いていただいでいでしょうか。

(F) とりあえず書いて、ああ、そうか、名前を言わないといけませんね。

(サブ F) そうですね。

それからもう一点、グループが変わったら、くじのアルファベットが四角に囲まれている方がファシリテーターになります。だから、自分はファシリテーターをしないとは思わないで、ファシリテーターになったら、同じことをしてください。

(F) お願いします。最初に名前だけ自己紹介を、ということですので、時計回りで、私からいきます。

(自己紹介のため、略)

(F) お願いします。ということで、とりあえずイメージが湧くものをどんどん書いてください。よろしくお願いします。

(サブ F) イメージでも、ご意見でも、印象でも。

(F) はい。なんでもいいそうです。

(記入中)

(F) どうしたらいいですか？ 書いた都度貼ってもらいますか？ それとも最初は書いてもらって、

(サブ F) 手元に持っていていただきましょう。

(F) はい。

(サブ F) お書きになったら、お手元にストックしておいてください。

(記入中)

(サブ F) もうないですか？ たくさん書いていただいて結構ですよ。

—— もうないです。そのものを書いたので。それ以降の話になっちゃいますね。

(サブ F) 皆さんの発表を聞きながら、もし思い浮かべたら、またそこで書いていただければ。

—— これがテーマですよ。それ以外のことを書くと混乱するのではないかなど。話が分散してしまうのではないですか。

(サブ F) テーマ自体が漠然としていますからね。

—— そうですね。もう少し話が砕けていれば、砕けた中で書くこともあるのでしょうか。下調べしてこなかったですから。

—— 私も、思いきり門外漢ですから。イメージだけで書いています。

(サブ F) それで結構です。

—— 最初、「原子・カムラ (げんし・かむら)」かと思ったんです。

(サブ F) そういうご意見でもいいですよ。それも書いてください。なんでもいいのです。

—— どこで区切るんだろうって。

(サブ F) そういう率直なご意見を書いていただけるとありがたいです。何でも構いませんので。

(記入中)

(F) よろしいでしょうか。では、そちらから、貼りながらご意見をいただけますか。

—— まず、ムラって何？ という素朴な質問です。先入観を与えないで行こうと思ったので、インターネットで何も調べてこなかったのですけれども。原子カムラというものがどういうものか全く理解できなくて。だから「ムラって？」と書きました。

(F) ええと、何かご質問はありますか？ 確かにその通りだなというところでもあるのですが。どうしたらいいですか？

(サブ F) 次にいきましょう。

(F) では、そのまま順番でお願いします。

—— お聞きしていいですか。これはカタカナの「ムラ」なのですけれども、漢字の「村」とは違うのでしょうか？

—— 同じなのではないですか。

—— 同じですか。そうお考えですか。そこをお聞きしたかったので。

(F) 初回はアウトプットをだ一つと貼っていかないといけないみたいなので、とりあえず次にいきましょう。

(サブ F) どうしてもお聞きしたいことがあれば、お聞きください。

(F) そうですね。そういうときはお聞きしていただければ。  
では、次の方、よろしくお願いします。

—— いくつか書いたのですが、ば一つと貼ってしまいますか？ このまま貼っていいですか？

(サブ F) いえ、1つずつ話をしながらお願いします。

—— たぶん我々の認識（〔身内意識〕）です。  
それから、一応〔専門家集団〕というものではあると思うのですね。

—— 私もそう思います。

(F) 同じものがあつたとしても、そのときにばつと貼るわけではなくて、自分のときに貼っていくようにするのですね？

(サブ F) そうですね。そのときに、似たようなご意見は近くに貼っていただければ。

—— 一方で、〔利害団体〕という見られ方もきつとしているのだろうなど。

あとは、近いものがあるのですが、言い方が悪いと、〔闇雲に推進〕している人たちみたいな言い方になるのかなと思いました。

果ては、〔悪者?〕なのかなと。これは専門家のほうとしては微妙な感じなのですけれども。たぶん事故を起こそうと思った人はいないはずで。我々自身もああいうことが起きてショックを受けています。それこそ、ロシアではあんなことは起きて、日本では起きないよと本当に思っていたので、そういう意味では〔悪者?〕なのかなというイメージがあります。

なぜこういう対立軸になるかという、やはり専門家で、身内意識みたいなものがある集団なのかなと。なんていうのでしょうか、特に原子力はそうなのですが、どうせ言っても分かってもらえない、反対派の人には通じないだろうな、という部分がありますので、そういう感じで身内意識をもって、反対派とのコミュニケーションを少し控えるような専門家集団、みたいなものなのかなと。こんな感じですね。

(F) ありがとうございます。何かご質問はございますか？

—— そういう言葉がキーワードで出たら、自分では出てこなかったけど、そうそう、みたいなのがあります。

(サブ F) それは、2回目のグループワークで、共感するところにシールを貼っていただくような形になります。

—— 私はもしかしたら先生方とは少し話が違って、私はどちらかというと自然エネルギーを推進したほうがいいのではないかと考えているタイプなので、〔再生可能エネルギーへの障壁〕であると。反対している（〔自然エネルギー反対ムラ〕）。太陽光発電の買取などでも抽選にしてみたり。

私としては、〔唯一の被爆国なのになぜ?〕と思います。私は関西地方出身なのですが、ヒロシマ、ナガサキ、西日本のほうに落ちたのに、なぜこれを推進しているのか。

〔原子力発電の推進団体〕。これは〔利害団体〕に近いのかもしれませんが。どうしようかな、この辺に貼ろうかな。

私は、被爆国という意味では、原発の事故に対しては処理が後手後手だったなと思います（〔原発事故処理 後手後手〕）。

被ばくがうやむやでなかったか（〔放射線被曝うやむや〕）。これも一緒ですね。

利害関係というところでは、私は、〔税金に守られた特権組織〕のような気がします。（貼る位置は）〔身内意識〕の近くがいいかもしれませんね。

というようなイメージがあります。でも私は本当にただの専業主婦で、原発やめろ、とかはやったことがないような人間で、

(サブ F) (貼る位置は) この辺りですか？

—— 税金で守られた、というのは、すごいお金が。

(サブ F) この辺りにお貼りしますね。

—— 私はシュプレヒコールなどもしたこともないし、署名もしたことがない人間ですけど、ただ単にイメージで言えば、やはり、どうして？ というのが多かったです。なぜこんなことが起こって、なぜ子供たちが、水も土壌も汚染されて、海洋物も汚染されて、というのがあったので、こんな書き方をしました。私はとても門外漢なので、マイノリティーを感じています (笑)。

(F) ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

—— 私は逆に原子力の中にいまして、中から見ているので、外の方の意見は分からないのですが。

だいたいこんなものかなというのは、まず [原子力を信奉している集団]。私は信奉まではいっていないですが、こういうイメージというのはかなり信者に近い、信仰的なものかな、というのがひとつあります。

それから、先ほども出ましたけれども、利害ですね。[原子力の共通の利害に関わっている人々]。

それから、[原子力の組織にしばられている人たち]。組織がある意思を持っていて、どの組織に所属しているかによって、どんな意見を言うかというのはもう制約されているのですよね。会社や研究機関はある意思をもっていますので、なかなか自由に意見は言えない。それは私も相当感じます。だけど、そういう方々が、意見を言えなくてもそれが当然とっていて、あまり自由に言おうともしない、という感じがします。

それから、原子力の専門外から見た場合に、反原発という立場から、原子力ムラというレッテルを貼ると、非常にいい攻撃材料なのですね。昔は原子力推進派という言い方で分けをしていたのですが、最近「ムラ」という言葉が出た。たぶん、ムラという言葉もそろそろ陳腐化してきましたから、そのうちまた新しい言葉が出てくるのではないかと。そういう意味で、反対の方からしたら、ムラというのはいい言葉 ([原子力の専門外から見た反原発の意思表示])。

—— 攻撃するという意味ではね。

—— ええ。ムラという言葉は大事にしたほうがいい。攻撃しやすいものを取り上げてしまったら、反原発の方からしたら、せつかくのキーワードがなくなってしまうから、私は

なくす必要もないのかなと思うくらいなのですが。これは（貼る位置は）どちらですか？

—— どこかな、と思ったのですが、〔悪者？〕というところでもいいかもしれない。

反原発の人たちから見たら、原子カムラという言葉で攻撃できると。

—— はい。実にいいワードですね。よくできたアイデアですね。うまく捉えているんですね。

—— ぱっと見せてもらったときに、あれって思ったのですがね。そうか、そういう見方もあるんですね。内部から見たらそう思われるんですね。

—— ええ。私も攻撃されている立場かもしれませんが。

—— それは新しい見方だなあ。

(F) ありがとうございます。次の方、お願いします。

—— 私は考えが浅いというか、淡々と考えたのですが、「ムラ」という言葉と「ムラびと」という言葉で表現が違うかなと思うのです。

私は、「ムラ」という言葉が出てきたときに、「ああ、私はムラびとだな」と思っていたのですが、ムラのバウンダリーはどこなのか、ということはあまり考えたことがないのですね。原子カムラの人、と言われると、ああ、自分もその 1 人だなと思う。それはなぜかという、原子力関係の仕事をしているから。原子力というのはとても分野が広いのですけれども、特に私は放射線安全の仕事をしていたことがあるので、皆さんの「線量が高い、怖い、除染しなければいけない」というお話に対して、いや、それほど高いわけじゃないんだけどな、と考えるほうなので、そういう意味ではまさにムラびとなんだろうなと思います（〔原子カムラ人＝原子力関係の仕事をしている人〕）。

そういうベースでムラとは何だろうかと考えていくと、〔原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ〕のことをムラというのかなと。淡々とした定義として、といますか。

(サブ F) それがその付箋の意味ですね？

—— はい。

ただし、境界を考えたときに疑問が出てきて、〔原子力技術者の家族も「ムラ」人か？〕。私の子供、私の夫はこういう仕事に就いている人間ではないのだけれども、でも、私は子

供たちに何ミリシーベルトがどうだということは結構話をしているので、子供たちはそういう感覚を持っている。そうすると、学校で周りからなにか言われたときに、「え？ このくらい大丈夫じゃん」と私の子供たちは言うてしまう。そうすると、なんだお前は、ということになっていく。私の子供は果たしてムラびとか、そうではないのか、というところは疑問です。だから、バウンダリーがどこにあるのか。

それに、私は自分はムラびとだと思うのだけれども、プライベートではムラびとではない。仕事をしている顔と、母親である部分と。まったく原子力とは関係ないところですので、そういうところでは私はムラびと化をする必要もないですし（[プライベートは「ムラ」の外？]）。

そういう意味で、ムラびとと言ったとき、その人の〔人間の一面しか表さない〕言葉なのだろうな、と感じていました。

(サブ F) その人の一面しか表さない言葉、ですね。

—— そうですね。そこで働いている人は原子力ムラの間人なんだ、と決めつけるのはおかしいですよ。その人にもいろいろな顔があるわけだし。専門家としての顔はそのひとつにすぎないのだけだな、と感じた次第です。

(F) ありがとうございます。

(サブ F) 「バウンダリーはどこなのか」というのは、付け加えたほうがいいでしょうか。

—— ありがとうございます。

(F) バウンダリーというのは？

—— ムラの境界、ですね。自分がムラの中に入っているのは分かるのですが、

—— 入っているのですか？

—— 私はムラの間人ですね。だけど、先ほどおっしゃったような組織に縛られているという感覚はないのですよ。

—— 組織には縛られていない。

—— 別に発言を制限されることはないし。組織の看板を背負って話す場面では、当然組



織の意見を言わないといけないわけで。

(サブ F) それに該当することは書いていましたか？

—— この付箋のことですよ。

(サブ F) いえ、もし付け加えていいのであれば。

—— そうですか。

(F) ありがとうございます。では、最後に私から。

まず、〔閉鎖的〕というイメージがあります。ここに貼っていいですか。

私も、〔専門家集団〕というイメージがあります。まったく同じ言葉です。

あと、利害関係ではなくて、〔利益関係が強い〕ということで、もう「害」ではなくて、「利益」でつながっている人たち。

—— 利だけ。害はないと。

(F) 一応この辺りに貼っておきましょうか。

あと、分からないのですよ。〔とっつきにくい〕。シーベルトとベクレルの違い、どちらかが人に対するもので、どちらかが線量自体の強さだと聞いたことがあるのですが、分からないですよ。レントゲンとか、いろいろありますよね。よく分からない。

あとは、〔閉鎖的〕ともつながるのですが、〔あ・うんの関係〕でやっていらっしゃるのではないかなと。ムラという狭い社会だから阿吽の関係もできるところがあるのかなと。それで、我々もとっつきにくくて知ろうとしないから、結局その場だけで進んでいるのかなと。

あと、これは原子力ムラだけではなくて日本自体にある話なのでしょうけれども、〔経営と現場の乖離〕がすごくあると思います。経営というのは、監査が怒鳴り込んでいろいろとワーワーやった、というのを間接的にいろいろな形で聞いていますけれども、どの日本の組織もだいたい上のほうは腐っていて（笑）、ろくでもない人が出世する傾向が強いような気がしています。一方で、「フクシマ 50」という言葉があったように、現場で必死で戦って、一生懸命設備の中にこもって、自分の命をかけて守られた方もムラの中にいらっしゃるということで、ムラ全部が悪いという話にはたぶんならないでしょうし。

あとは、原子力もうまく使えば、例えば粒子線の治療施設、あれはメスを入れなくてもがんが消えるわけですよ。高齢の方でも治療ができる。だから、うまく使えば非常にいいものでもあるわけです。だから、この一言でくくることはできないのでしょうかけれども、

その私の戸惑いというか、困っている部分を、この〔経営と現場の乖離〕という言葉で書いてみました。

(サブ F) 全体がムラなのですね。ムラの中に、経営と現場があると。

(F) はい、そうですね。

あとは、〔隠ぺい体質〕。〔閉鎖的〕と一緒になのか、似ているのかというところはあるのですが、どうしても、なんとなく、都合の悪いことは隠していますよね。まあ、影響が大きいので隠したくなるのでしょうけれども。一方で、例えばアメリカのスリーマイル島の事故が起きたとき、あのときも確か隠した方向があったかと思うのですが、その後の調査や分析はとても透明にやっていて、これでもかというぐらいクリアに表に出していたと思うのですよ。でも、残念ながら今の福島動きは、隠すほう、隠すほうに行ってしまうのかなど。

だから、たぶん我々としたら、小学生、まあ中学生くらいですかね、中学生に対して、こうだからこうなんだよという判断基準、考え方が伝わるようなものにならないといけないと思うのです。今、結局その基準があいまいになっているので、エキセントリックなことを言う人は、もう日本から移住したほうがいいみたいなことを言ったり、そうでない人だったら、別に普通に（外で）遊んでいてもいいんだよという話になっている。判断自体ができない状況にあるのですが、その辺りも隠ぺい体質に起因していて、疑いが疑いを呼んでいるところがあるのかな、ということで書かせていただきました。以上です。

(サブ F) 最後のご意見を付箋に書いて加えていただければ。

(F) ええと、「基準があいまい」、「判断基準が分からない」とかでしょうか。でも、ムラとはなんだろうかと、からは少し外れてしまうので、書けないのですが。

—— 透明性みたいな話でしょうか？ 理解してもらおうという意思がないと。

—— 中が分からない。

(F) そうですね。とりあえず〔不透明〕といたらいいでしょうか。

(サブ F) (〔不透明〕を貼るのは) 隠ぺい体質の横で、この辺りでいいですか？ 同じような意味はありますか？

—— 少し違いますよね。

—— 若干違うかな。というのは、意図的に隠そうというのと（隠ぺい体質）、理解してもらおうという努力が足りない（不透明）という違いがあるという感じはしますね。

（サブ F） では、書いてもらいますか。

—— 追加で発言してもいいですか？

（F） 追加で書いた方がいらっしゃれば、どうぞ。

—— これは私の観察ですから、かなり独断です。どうも、原子力に熱心な方は、〔放射線に鈍感〕な方のほうが多いのではないかと最近思います。私はどちらかというとな感なタイプなのですが。

（サブ F） ムラの方がですか？

—— ムラの方が、〔放射線に鈍感〕な傾向があるのかなと。浴びてもあまり気にしないのですよ。そういうご意見が結構多いのですよ。ただ、本当かどうかわかりません。かなり独断、偏見です。

—— それの真反対の意見で。私もたぶん鈍感と言われれば鈍感なほうだけど、

—— 鈍感という言い方は失礼かもしれないけど。

—— なぜ外から見て鈍感に見えるのかというと、やはり私は科学を信奉する人間なのですね（〔科学信奉者〕）。先ほどの基準の話にもつながるのですけれども、安全と安心の基準は異なっていて、安全の基準は、私は明確だと思っているのです。

（総合 F） 皆様、あと 5 分で移動ですので、よろしくお願ひします。

—— 科学者たちが何十年かけて研究してきて、安全はこのぐらい見ておけばいいというか、何段階かあるのですけれども、そういう基準は割と明確なのですな。私たち専門分野の中では。

それをもって安心できるかどうかというところなのですけれども、私自身も科学者の 1 人でもあるので、科学を信用するというのがベースにあるから、そのデータを信用する。ちゃんとしたデータであるということを知っているのです信用するのですな。でも、そ

の数字で安心できるかどうかという、安心の基準は皆違うので、そういう方（一般の方）から見ると（専門家は）鈍感に見えるのだろうなど。

——（〔鈍感〕という表現は）少し失礼でしたね。

—— いえいえ、見方を変えればそうだと思います。ベースは、

—— 科学に基づいて。

—— そうです。

—— はい、そういうことだろうと思います。

—— 自分なりの基準なのですよ。

（F） どうでしょう、（サブファシリテーターに）このように書いていただきましたが。

（サブ F） でも、後半が違うと思うのですよ。

—— 安全の基準は明確で、安心と安全の基準は違ふと。安心の基準は人によって異なるのだと。

（F） そちらの方もお書きですので、どうぞ。

——〔一般人との温度差〕がありますね。

—— ここにもありますよね。

—— ああ、ここともつながってくるのかな。そうですね。

—— サブファシリテーターさんは、ずっとそちらの方のフォローをされるのですか。

（サブ F） いえ、そうではなくて、今ご意見を言われたのを、

—— キーワードと言われたので、キーワードを書いたつもりだったのですけれども。

(サブ F) キーワードを書いてお話をされていると、皆さんいろいろなお話をされるので、その中で、付箋に載っていないお話が出たときに拾わせていただいて、ご本人に確認をさせていただいて、貼っているのであって。

ええと、何か落としていますでしょうか。

—— いえ、そういうことではないです。ずっとそちらの方の話のメモを取られているから、ああ、そういうことだったんだなと思って。

—— ごめんなさい。本当は私が自分で書かなければいけなかったのですが。

—— それは本人が書けばいいですね。他の人が書いてはいけませんね。

—— 他の方に対しての扱いが違うなと思って、びっくりしただけです。

—— いろいろ申し上げて申し訳ありませんでした。

(サブ F) いえ、たくさんお話をしていただくのは結構なんです。すみません、私たちが書いてお示ししたのがよくありませんでした。

(F) では、ご意見ありましたら、どうぞ。

—— いえ、私はもういいです。

(専門家の) 中から見てのことでは確かにそうなのだろうなと思います。しかも、鈍感だなというのもしました。

うちの息子は内部被ばくをチェックして、**Not Detect** で出なかったのですが。カリウムだけすぐ出たのですが。甥っ子がたくさん出たんですね。やはり被ばくしたときに、それを連鎖させてしまっていて。内部被ばくに対して、もう少し説明がほしかったな、というのがありました（〔内部被ばくの連鎖に対し不説明〕）。

(総合 F) 皆さん、話は大変盛り上がっているのですがけれども、お約束の時間になりましたので、書きかけの話は話していただいた後、2 番目のアルファベットの班に移っていただければと思います。

(F) どうもありがとうございました。

<終了>